

調布まち活フェスタが4年ぶりに会場で開催し、29団体が参加

第9回調布まち活フェスタが3月12日(日)の午前10時から午後3時まで、国領の市民プラザあくろす館内と国領駅前広場で開催された。4年ぶりの会場で開催で29団体が参加した(主催:第9回調布まち活フェスタ実行委員会)。まち活フェスタは、調布の市民活動・地域活動を活性化させるため、さまざまな分野で活動する団体・個人が集まり開催するイベントで、今年のテーマは「いま、ここで実現しよう。」。共催の調布市社会福祉協議会市民活動支援センターの高木直センター長は「市民団体はいろいろなミッションを持って活動しています。各団体の活動ぶりを会場で見てもらい、体験して楽しんでもらいたいのが目的です。」と話す。

駅前広場には、フードバンク調布や市の社会福祉事業団ベーカリー&カフェ「ほっとれ〜る」、ちょうふ0円マーケット、紙で小冊子を作る「アネスト出版」など多数のテントが並んでいた。ちょうふカルタの文字が結ばれている風船を取り合う「バルーンランド」もあり、子供たちが赤と青に別れて楽しんでいった。ステージでは市立第五中学校合唱部や調布市青少年ステーションCAPSのバンド、混声合唱団「七福神」は「幸せ」や「時代」などを唄い、会場を訪れた市民から拍手が湧き上がっていた。

あくろす館内では電気通信大学鉄道研究会の巨大プラレール展示、同大学天文部は直径5cmのプラネタリウムを作り初参加、内で星空を見上げることでもできた。調布・桜いきいき支部はスポーツウエルネス吹矢を丁寧に指導していた。最後に高見秀太郎実行委員長の「この活動を1日で終わらせることなく、これからも盛り上げていきましょう」との挨拶があり。午後3時前に終了した。(大泉清)

誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化「調布市デジタル化総合戦略1.0」を策定

調布市は、2023年(令和5年)2月に「調布市デジタル化総合戦略1.0」を策定した。調布市では2004年(平成16年)3月策定した調布市地域情報化基本計画から市民参画が行われており、調布市民放送局の活動も基本計画の中から市民が自主的に立ち上げた団体である。現在も引き続き、調布地域情報化推進協議会の一員として、活動を通じて感じていることを市民の目線で提案している。

この戦略の骨子は、①どこでもサービスが利用できる地域社会 ②職員のデジタル(IT)人材育成 ③みんなで一緒にデジタルデバインド対策 ④みんなで考えよう 地域社会のデジタル化 である。

デジタル技術が爆発的に進んでいる情報革命の真っ只中にある現在の社会。デジタル化が世の中の仕組みや人間の生き方、考え方をも急速に変化させている。メリットもデメリットもまだまだ先が見えないが、その時代に生きている私たちは他人事では済まされない。孫子の為にも未来の絵姿を一緒に考えて見ませんか。

【FC 東京応援記】

シーズンは始まったばかりだが、柊斗、凌磨、帆高と長期離脱のケガ人が続出している。対人強度を特に求めるアルベル監督の戦い方は、ケガと表裏一体。彼らの早い回復を祈るばかりだ。話は変わるがU20代表がアジア予選4強でU20W杯出場が決定した。チームをキャプテンとして率いたのは松木玖生。過酷な連戦でも、素晴らしいキャプテンシーを発揮していた。そして大会得点王に輝いたのは熊田直紀。帰国後のルヴァンでも挨拶代わりヘッドで得点を決めた。さも当然の如くに、感情を爆発させない彼に大物感が漂う。キング誕生の予感だ。(日比生)

ちょビット

調布社協 インフォメーション No.20



調布社協では機関紙「ふくしの窓」を、年に6回奇数月に発行しております。市内全戸にポスティング配布しており、福祉情報が必要な方に限らず、広く市民に福祉への関心を持ってもらえるような媒体を目指し、紙面づくりを行っています。

市民のみなさんにも様々な形で紙面づくりに参加していただき、幅広く福祉情報・地域情報を発信していきます。

右記2次元コードからもご覧になれます。



2023年4月 番組表



＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1日 15日	①♪「調布讃歌」と行く調布名所巡り 調布市在住のミュージシャン依知川伸一さんの作詞・作曲による歌「調布讃歌」を道案内に、調布の名所巡りに出かけましょう！ ②芸優座春公演「後のこと知りたや」: 今回は、樋口一葉の生誕150年を記念して劇団芸優座オリジナル劇「後のこと知りたや」を上演。脚本家の村田里絵さんに、公演の見どころをお聞きました。 開催日時:4月22日(土)18時30分～、23日(日)14時～ 開催場所:くすのきホール					
16日 31日	①東日本大震災慰霊祭2023 ～あの日を忘れない 災害発生から12年災害発生の午後2時46分黙とうが捧げられました。追悼法要が営まれ、祭壇の前で多くの市民が手を合わせていました。 ②第9回調布まち活フェスタ: コロナ感染のため4年ぶりに会場で開催。ステージでは地元の中学生の吹奏楽の演奏や合唱。また広場では色風船に結んだかるた取りを楽しんでいました。 ③第1回 調布こども屋台選手権: 子ども達に地域と、料理と、商売を同時に学んでもらう企画。子どもとおとながチームを組み、地元の多摩地区産の食材で300食を作り販売。購入者の投票でグランプリなどを決定しました。					



ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内 容	ご 紹 介
4月	3日(放送)	宮本苑生の詩の世界	八木幹夫詩集『野菜畑のソクラテス』他から抜粋してお届けします。
	10日(再放送)	八木幹夫さんの詩の朗読	朗読: 峯田里香子
	17日(再放送)	ゲスト: 大熊祐子さん	ヘアーワールド世界大会で3年連続金賞受賞、「卓越した技能・現代の名工」等、数々の輝かしい実績をお持ちの美容家にお聞きしました。
	23日(再放送)	(Ginza Visée つつじヶ丘	インタビュアー: 柴田紀恵子
	30日(再放送)	サロン美容家)	

HP

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見ませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式 HP)

(すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)

(すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式 HP】



【アーカイブサイト】



【フェイスブック支局】



お金とカードに

関する電話は警察に通報を

特殊詐欺では還付金詐欺とキャッシュカード絡みの詐欺盗が多い。電話口で市役所職員などを騙りATMに誘導したり、警察官などを装ってカードをすり替える事案が目立つが、調布警察署(電話042-488-0110)では、「お金やキャッシュカードに関する電話があったら警察に通報を」と注意を呼び掛けている。

住宅用火災警報器は

備えてありますか？鳴りますか？

住宅火災による死者の数が増えている。東京消防庁では「STOP！住宅火災。いま備えよう」と呼び掛けている。調布消防署(電話042-486-0119)では「住宅用火災警報器は設置してありますか？それは鳴りますか？それと設置後10年が交換の目安です」と注意喚起。自宅の住宅用火災警報器を一度点検しましょう。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429

郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2 階 市民活動支援センター 気付

[編集・発行] NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14